

時間割コード	G2B60518		開講年度	2026				
授業題目	バスケットボール					担当教員	古澤 栄一	
英文授業名	B A S K E T B A L L							
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限		対象学生	全
講義室	共通教育第1体育館			授業形態	実技	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
		大学DP				⇔	・専門用語を理解し実践的な経験知を積む中で、相手との駆け引きを楽しみながら自分を表現出来るようになる。 ・もし君が、初心者であっても3回に1回はシュートが入るようになり、自分一人でボールをコントロールしシュートが打てる位置までボールを運んだりするなど、自ら積極的に行動する姿勢を習得し獲得できるようになる。 ・バスケットボールに関する知識・技術・ルール・マナー等を身につけ、グループの中でディスカッションしながら問題や課題を発見し、その解決方法を探りながら生涯にわたる運動習慣形成を図れるようになる。 ・今はやりのストリート・バスケットを楽しみ、アメリカン・バスケットやヨーロッパ・バスケットの知識を豊富にしながら、40分間（可能であればNBAの48分間）のゲームをチーム・メイトと共にフルにプレー、挑戦できるようになる。	
		持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力						
(2)授業で学べる「テーマ」		多文化協働、健康長寿、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム		ライフクリエイター養成コース						
(4)授業の概要		・本スポーツ実習は、バスケットボールのファundamentalsを習得しながら個人技術を磨き、本場の「スリー・エックス・スリー」なども楽しむ。 ・チーム編成の中でリーダーを中心に助言をもらいながら各個人の「自分への気づき」やグループ内での役割を考え、効果的な人材を模索する。 ・さらに、チーム力を高めながら「戦術」を考え、駆け引きのある「ゲーム」を楽しみ、運動量の確保と共に経験知の質を一層高めていくものである。 ※ 本授業は男女共同参画に関する内容を含む						
(5)授業のキーワード		・スポーツ方法学 ・スポーツ心理学 ・スポーツ・バイオメカニクス ・コミュニケーション ・グループワーク ・課題発見・解決 ・男女共同参画						
(6)授業計画		1、ガイダンスとミニ・ゲーム （アメリカンバスケットの概要説明、グループ編成、出欠カード作成等） 2、イメージ・アップ・バスケットボール （シュート・センスを引き出そう） 3、3エックス3ストリート・バスケットボール （ゲーム感覚をつくろう） 4、2 1（トゥエンティ・ワン） （1オン1の強さをつくろう） 5、4オン4ハーフ・コート・バスケットボール （シュート・タイミングを知ろう） 6、5オン5フル・コート・バスケットボール （速攻に走ろう） 7、リバウンド・ゲーム （空間を支配しよう） 8、リード・ゲーム （イメージ・トレーニング） 9、パワー・ドリブル・ゲーム （力強さを身につけよう） 10、ポンプ・フェイク・ゲーム （自分のタイミングを見つけよう） 11、チーム対抗戦1 （プレッシャーへの挑戦） 12、チーム対抗戦2 （頭脳的プレーの習得） 13、チーム対抗戦3 （作戦を練ろう） 14、チーム対抗戦4 （チャレンジ・ゲーム）授業アンケートの実施						

(6)授業計画	15、レベル・アップ・テスト (プレッシャーへの挑戦)
(7)成績評価の方法	授業を進めていく中で下記のようなゲーム場面でのテストなどにより総合的に評価する。 ・ゲーム場面におけるシュート本数、リバウンド本数など。 ・ゲーム場面におけるディフェンス力など。 ・チームの中で自分が与えられた役割をきちんとこなし、チームメートとコミュニケーションを万遍なく取っているかなど。 ・授業の前後や空き時間を利用し時間外学習を積極的に行っている者。
(8)成績評価の基準	・授業で示した課題を個人として適確に行うことが出来れば、「その水準にある」 ・実践の中でその課題を発展するような場面に遭遇しても慌てずこなし、新たな課題を発見するようであれば、「やや上にある」 ・更に自チーム、他チームの情報を収集しながら連係プレーを卒なくこなし、組織内での役割を全うしていれば、「かなり上にある」 ・心技体全ての面で充実し、指導教員を感心させるリーダーシップ力が備わっていれば、「卓越している」
(9)事前事後学習の内容	・前週に問われた課題を準備段階で行い、リーダーを通して確認する。 ・その週に現れた新たな課題をあらゆる機会を利用しながら積極的に挑戦する。 (例えば、ゴール下の連続シュートや授業で学ぶ各種ステップ・シュート、また、友人たちとの1対1や2対2そしてスリー・エックス・スリーなどを試してみると良い。) ・疑問や課題が見つければ授業時などに質問を投げかけてもらっても良い。 ※ 体育館は授業及び教職員やクラブ活動で使っていなければ個人・チーム練習可能 ※ この授業は45時間の学修を必要とする内容であり、従って、15時間以上の時間外学習が必要となる。
(10)履修上の注意	・バスケットボール・コートは共通教育第2講義棟北側奥の第1体育館である。 ・攻防が中心(毎時間ゲーム・ライク)となるので、眼鏡留めをしたり、腕時計を外しケガをさせないように注意、配慮する。 ・シューズは技術向上やけが防止の観点から、専用の安定したモノが望ましい。 ・貴重品はできるだけ持ってこないようにする(各自で管理)。 ・10月 1日(木)に初回授業を第1体育館でガイダンス中心に、実技も行う。出欠カード作成のための顔写真(3×4cm)と筆記用具を必ず持参すること。 ・11月26日(木)は月曜日授業実施のため、バスケットボールの授業は行わない。 ※ 単位を獲得するためには予習、復習など積極的に時間外学習を行う必要がある。
(11)質問,相談への対応	メールにて対応する。 ・メール・アドレス : efuru@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを前提とする。 ・出欠確認は独自のカードで行う。 (点呼の時間を省いたり、適確な評価を行うため、最近の顔写真(3×4cm)が必要となるので、必ず用意しておく。)
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請を行うように。
【教科書】	特になし
【参考書】	・稲垣安二 球技の戦術体系序説 4-900071-84-6 梓出版社 1989年 1,760円(税込) ・稲垣安二編 バスケットボールの指導体系 B07MVFC2NG 梓出版社 1992年 2,400円(税込) - など